

### 第3回生駒市立病院管理運営協議会 会議録

- 日 時 平成28年6月23日(木) 午後2時00分から午後16時05分
- 場 所 生駒市コミュニティセンター401会議室(生駒セイセイビル内)
- 出席者
  - (1) 会 員 小紫 雅史、井上 雅智、山上 正仁、成田 研二、野田 夏子、堀 隆、藤澤 清二、藤堂 宏子
  - (2) 事務局 【生駒市】山本副市長、古川特命監、影林福祉健康部長、増田福祉健康部次長、石田病院事業推進課長、伊藤病院事業推進課係長、森下病院事業推進課副主事  
【生駒市立病院】住友事務長、木下看護部長、漆間事務次長
- 欠席者 今村 正敏、前野 見依子
- 傍聴者数 5名
- 会議の公開・非公開の別 公開
- 会議の内容

#### 1 開会

生駒市立病院管理運営協議会設置要綱第6条第3項の規定により、過半数の会員の出席で会議が成立していることを確認。今村副会長、前野会員の欠席を報告。報道機関からの申出により撮影許可。

#### 2 会員紹介

【事務局(市)】今回新たに会員にご就任いただきました皆様をご紹介します。

公募市民として、飯田会員の後任といたしまして、野田夏子会員でございます。

【野田会員】野田夏子と申します。よろしくお願いいたします。

【事務局(市)】次に、地元自治会を代表とする者として、原田会員の後任といたしまして、東生駒自治会長の堀隆会員でございます。

【堀会員】今年4月より東生駒自治会長を拝命いたしました、堀でございます。よろしくお願いいたします。

【事務局(市)】また、事務局としまして、市関係職員と、病院関係職員が出席しておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

#### 3 前回会議内容の確認

【事務局(市)】前回の会議では、報告案件としては、市立病院の運営状況として、開院後の患者数や収支の推移、人員体制、地域医療連携の取組について報告させていただき、協議案件として、「市立病院のPRのあり方」につきまして、市立病院及び市のこれまでの取組実績の報告後、ご意見、ご提案をいただきました。主なご意見内容としては、市

民に対するPRとして、

- ・院内のご意見箱のご意見に対しての改善点・プラス面を病院のホームページ等にアップし、すぐに対応していることをアピールすること。
- ・開院当初の医師不足というネガティブイメージの印象を変えるような情報発信として、広報紙での写真つき病院医師紹介記事や禁煙外来やS A S（睡眠時無呼吸症候群）外来など市民の関心の高い専門外来の標榜等を実施する。

次に、地域の医療機関への医療連携の中でのPRとして、

- ・市立病院の登録医への何らかのメリットを提供する等の工夫。
- ・紹介したくなる病院となってもらうことが大事であり、医療体制の充実に重きを置いていくこと。

また、県外や市外に流れている患者を生駒市に取り込んでいく努力が必要であることや市内には一次から三次の医療機関があり、いい医療環境なので、市立病院がその間を取り持つような病院になればよい。などといったご意見をいただきました。

なお、いただきましたご意見等につきましては、市と市立病院で協議させていただき、可能なものから速やかに反映させていただいております。以上でございます。

それでは、今後の進行は協議会設置要綱第6条の規定により、会長が議長となりますので、市長よろしく願いいたします。

**【小紫会長】** それでは、改めまして、大変お忙しいところ、第3回目の病院運営協議会にお集まりいただき、ありがとうございます。大変お忙しいお時間を割いていただいておりますので、議論すべき点しっかり議論しながらも、円滑に審議を進めていきたいと思っております。ちょっと私の方から、冒頭に課長から説明があった中で、前回いただいたご意見について速やかにいろいろ反映していますという話がありましたけれども、具体的にこういうところを反映しているというお話をもう少し丁寧にご説明いただいた方がいいと思うんですが、少し紹介してください。

**【事務局(市)】** それでは、先ほどの件について補足させていただきます。前回ご意見をいただいた内容で、できるだけ広報誌等で積極的にPRしていくということにつきましては、既に広報誌やSNS、ツイッター等の媒体を活用し、この4月からは整形外科に常勤の先生が来られましたので、医師紹介等を積極的に行わせていただいたり、広報誌にはこれから載るところなんですけれども、形成外科の方でフットケア外来という専門外来を開始するということがありますので、このPRをさせていただいているところがあります。以上でございます。

**【小紫会長】** ありがとうございます。もし、前回いろいろといただいたご意見の進捗等で何かございましたらご質問いただければと思います。

**【藤堂会員】** いまのご説明はそれで結構なんですけれども、次回の会議からで結構ですので、そういう意見等が出た場合、こういうことで進捗してますということを文書で資料として配布していただければと思いますので、よろしく願いします。

【小紫会長】 ありがとうございます。藤堂会員のおっしゃる通りかと思います。前回の  
ご意見のまとめと、こういう対応をしてますとか、ちょっと時間がかかってますとか、  
可能であればプロジェクターとかでご説明していただければ、より分りやすかったかな  
という気もしますので、そのあたりは私も含めて反省として、次回からそのような形で  
報告したいと思います。ありがとうございます。

それでは会議を進めてまいります。新たに会員になっていただきました野田会員、堀  
会員、本当によろしく願いいたします。管理運営協議会は市民を代表する皆様から病  
院、そして各診療所、医師会を代表する方、様々な方に入ってきていただいております  
けれども、ある意味市立病院の運営を進めていくうえで、一番柱となる大切な協議会、  
集まりだと認識しておりますので、忌憚ないご意見をいただければと思います。市民の  
視点、自治会の視点、それ以外の視点からご意見をいただくことが我々大変ありがたい  
ので、よろしく願いいたします。

今日の会議は、午後4時の終了を目途に進めたいと思いますので、よろしく願いし  
ます。

#### 4 報告案件（3）平成28年度運営状況について（4～5月分）

【小紫会長】 それでは、議事に従って進めてまいります。議事4の報告案件3つございま  
すけれども、恐縮ですが、説明の都合上ちょっと順番を変えさせていただいて、（2）  
の平成28年度の事業計画書の話が5の協議案件につながるかと思っておりますので、（3）  
（1）（2）の順番で、まずは（3）の平成28年度の運営状況について、事務局から  
説明をお願いします。

【事務局（指定管理者）】 資料3-①、「患者数等の計画と実績（H28.4～5）」を  
ご覧ください。

まず、外来患者数ですが、4月は延べ3,144名、一日平均104.8名。5月は  
3,352名、一日平均108.1名。紹介患者数は、4月で186名、一日平均6.  
2名、5月で161名、一日平均5.2名という推移です。入院患者数は、4月で一日  
平均85.3名、5月で一日平均79.2名。こちらは4月の方が高いということにな  
っております。続きまして、救急患者数です。市内、市外から救急搬送患者を受け入れ  
ておりますけれども、4月で延べ140名、一日平均4.7名で、5月少し下げまして、  
128名、一日平均4.1名でございます。手術件数、稼働可能病床数、駐車場利用台  
数につきましては、資料でご確認いただけたらと思いますので、よろしく願いいたし  
ます。

次に、資料3-②「人員体制」でございます。医師数は、5月末時点で常勤22名、  
非常勤34名、常勤換算で25.9名でございます。看護師につきましては、5月末時  
点で、助産師、保健師を含めて常勤換算で89.7名が勤務しております。

最後に、資料3-③「収支計画と実績」です。収入の合計が、1億3,900万円と

いったところで、最終的な経常利益のところはマイナス7400万円。計画は1億円以上マイナスを見込んでいたのが、7400万円だったというのが4月の収支です。それと、提出できなかったんですが、5月は収入1億5000万円で、最終のところはマイナス5900万円です。以上です。

【小紫会長】 ありがとうございます。それでは資料3-①～③、4月5月の実績というところでご報告ございましたが、何かご質問ございましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

【事務局(指定管理者)】 すみません。ご意見箱とアンケートの方もいまご説明させていただけたらと思います。よろしいでしょうか。

【小紫会長】 前回のご意見でPRのところもあったと思いますので、それも含めて市立病院の方からもよろしくをお願いします。

【事務局(指定管理者)】 資料3-④に平成28年1月から4月までの間にいただいたご意見箱の内容とその対応について書いております。具体的に、例えば地下1階2階の駐車場の無料時間は30分だったんですけども、お見舞いに来られたりして、トータル1時間かかるということがありますので、現在は1時間変わっております。それから、病棟階の方で、給湯器の設置やお茶を飲みたいというご意見があったんですけども、春には4階に1台、5階に2台入院患者様がお湯を使えるように設置しております。お茶も飲めるようにしています。ご意見をいただいてすぐにできればいいんですが、ちょっとお時間をいただければということで今はお茶サーバーを入れています。

その次に、アンケートの分の資料として付いていると思うんですけども、第14回と書いているのは、徳洲会グループの中で14回目、当院としては初めてのアンケートです。アンケートの内容はグループで統一しておりますのでこういった表記になります。決まった期間、グループ全体でアンケートをするということを行っております。繰り返していただくと、評価の中で、「当院今回」「当院前回」と「全体」とあります。

「全体」というのはグループ全体の分です。規模というのは4つに分けていまして、小規模、中規模、大規模、超規模とあって、生駒市立病院の場合210床で中規模に分類されております。来られた患者様がアンケートに答えてくれて、外来、入院それぞれ、「知人等に紹介したいと思いませんか」という設問が出てくるんですが、今回のアンケートを取った時点では、「ぜひしたい」と「まあしたい」を合わせて8割ぐらいの方に答えていただいています。注目しないといけないのは、「まったくしたくない」という方が0.3%、たぶん1人だと思うんですが、そういう方もおられます。いいことに注目するのではなく、少ない意見をいかにプラスに変えていくか、それから、どうしても接遇等でお叱りを受けたり、診療内容でお叱りを受けたりするときは、よく「市立病院なのに」とか「市立病院のくせに」というお言葉がついてお叱りを受けます。グループの民間病院よりも患者様の意識としては、もう1ランクハードルが高いところに市立病院の医療のイメージがあって、それとのギャップにお叱りを受けるという経験があって、

職員一同それが目指すべき目標であるということだと思っております。そういったことでこのアンケートを見ていただけたらと思います。1年に1回アンケートをしておりますので、次回また上がる場所もあると思いますが、またこういった形でアンケートをさせていただけたらと思っております。以上です。

【小紫会長】 資料3-①～③に加えまして、3-④～⑥についてご説明いただきました。ご質問ございますでしょうか。いかがでしょうか。事務局として、このアンケートで生駒市立病院としてちょっと気になったところとか、ここの数字が他と違って良かったとか、逆に課題だとか、そういう部分があれば少しご説明いただければと思います。

【事務局(市)】 まず、生駒市民の利用がほぼ8割強になっていまして、あと奈良市からの患者さんが多いという状況になっております。また、「当院を選んだ理由」という設問もあるんですが、まずはやはり「駅から近い」ということと「便利だ」という理由で来られているというのが概略的な分析となっております。そして、このアンケートの見方といたしまして、まず外来部門につきまして、23ページと24ページをご覧ください。そこには総合的な評価ということで、まとめた評価が書いてございます。左上の「評点」という項目に全体の評価の点数が書いております。当院今回79.3、前は当然ございませんが、同規模、全体と見ていただいたら、だいたいの状況が分かると思います。市立病院は79.3、これは他の全体よりも5ポイントほど上の数字になっております。Q8の設問を見ていただきますと、「知人等に当院を紹介や推薦したいと思いませんか」という質問に対して、「ぜひしたい」と「まあしたい」を合わせてほぼ78%、79%の方がそう感じておられ、高い評価と私個人的にはそう感じております。また、24ページにどの科目は良いか、普通か、あるいはあまり良くないかということで、内科から脳神経外科まで書いております。ほぼ全体的に良い評価をいただいているという状況になっております。これが外来の患者様に対するアンケートの状況ということになっております。同じく入院でございますけれども、34ページ、これも総合評価ということで、入院されている方の評価が非常に高いという状況になっております。市立病院については、評価が85.3、これはグループ内の同規模または全体よりもほぼ10ポイント高い、良い評価をいただいております。Q11の「知人等に当院を紹介や推薦したいと思いませんか」という設問につきましても、約87%の方から勧めたいという回答をいただいております。35ページには科目別の評価が紹介されています。一番わかりやすいのは、36ページで、こちらには、医療のサービスの内容から施設等すべてに対して、市民の満足度に対する評価が入っております。ちょっと気になるところが、85点をボーダーラインとしますと、医師からの治療の説明、診療・態度、親切・思いやり、看護態度、紹介や推薦という項目では85点を超えておりますが、食事に関して、メニューの選択性、売店等についてはもう少し整えてほしいということと、会計、総合受付については全体を通して少し点数が低くなっております。これは市立病院に限ったことではなく、病院独特な部分かなと思っております。あら捜しをするならば、会計と総合受

付に時間がかかる、あるいは少し手間取っていると感じるというような辛口の意見がございました。全体的にみて、親切・丁寧をモットーに非常に頑張っていたいただいていると思っております。私からは以上です。よろしくお願いいたします。

【小紫会長】 詳細の補足説明ありがとうございました。いまの説明も含めまして、ご質問ございますか。少し具合的なところまでご説明があったかと思えますけれども。

ちょっと一点だけ、資料3-④のいろんなご意見をいただいて、それをきちんと丁寧にお答えいただいていますけど、以前も市立病院の掲示板みたいところに全部は無理ですが、いくつか掲示しているという話がありましたけど、それをもうちょっと改善されたとか、ウェブサイトでいちいちこれを全部載せるのは大変だと思いますが、この中で質問が多いものについて、例えばよくある質問のようなもので追加するとか。そのあたりのいただいた意見の返し方を工夫することで市民に対する情報提供ができるという意見が前回もありましたが、その点については、何か改善をされているか、もしくは今後改善する予定はあるかということについて、少しいただければ。

【事務局(指定管理者)】 前回もご意見いただいて、1階の薬局と総合受付のところに掲示するようにしているんですが、おっしゃるようにすべてではありません。スペースの問題もありますので、今後検討させていただけたらと思います。

【小紫会長】 ありがとうございます。それでは他に無さそうですので、4の(3)の部分につきましては以上とさせていただきますと思います。

#### 4 報告案件(1)平成27年度事業報告書について

【小紫会長】 それでは、引き続きで恐縮ですが、4の(1)に戻りまして、平成27年度の事業報告書、資料1になりますが、こちらの説明を引き続きお願いいたします。

【事務局(指定管理者)】 平成27年度の事業報告書について、ご説明させていただきます。まず、報告書1ページ、「診療科目」です。6月の開院のころは、12診療科で始まりましたが、1月から形成外科、救急科を追加させていただいて、現在の14診療科となっております。(2)の「診察日・診察時間」につきましては、7月からは夕方に来られる患者様に対応できるように、広く全て診ましようということで総合診療科をスタートさせまして、現在に至っております。また、(3)の「病棟編成」につきましては、許可病床210床のスタートで、開院開設は2病棟からです。途中ICUと1病棟開けて、現在は153床の開棟となっております。あと1病棟開けると210床になるんですけども、まだ至らない平成27年度を送っております。

次に、「人員体制」につきましては、医師数は、開院当初の18.3名からスタートしましたが、3月末には20.2名に増えました。看護師数は80.2名からのスタートですが、3月末には89.6名ということです。途中の増減はありますが、特に看護師さんは12月のボーナスをもらってから退職される方が多いので、そのころちょっと下げましたけれども、当初に比べると増加しております。医師数ですが、整形外科は、

常勤の先生を抱えられないまま終わったんですが、4月に入って常勤の先生を迎えました。

3ページ目の、(6)「患者数等」につきましては、一日平均の外来患者数41.4名、入院患者数16.5名というスタートだったんですが、ずっと右肩上がりです。3月末では、外来平均102.9名、入院80.5名ということで終わっております。途中の形成外科の診察があつて増やしている、同じように当年に入ると整形外科が増えております。手術件数も形成外科が多くなっています。

次に、4ページ目の「2 取組状況の総括」といたしまして、(1)患者中心の市民満足度の高い、質の高い医療の提供につきましては、先ほどのアンケートやご意見箱の常設などを実施し、常に患者ニーズを把握できる体制整備を行うとともに、CT、MRI等の医療機器をそろえ、患者の症状に合わせた治療を提供するということを進めております。また、(2)救急医療についても、一番力を入れてきたんですけれども、開院して10ヶ月のトータルとしては、全救急搬送件数3,465件のうち662件を市立病院で受け入れており、それによって、市内受入れ率は、10%増加していることを生駒市から教えていただきました。また、休日夜間につきましては、市内輪番病院で受け入れできなかった患者様の6割ほどを市立病院で受け入れているとのことですので、市内輪番病院のバックアップ病院としてもご評価をいただいたのではないかなと思っております。また、(3)の地域医療機関との役割分担ですけれども、小児科の常勤医が1名ということで回っております。また退職があつたり、9月に新しい先生が来られたりということで、小児科があるわけですけれども、前年度においては医療を提供できるような体制を構築できました。

5ページ目の(4)災害時に機能を発揮できる病院機能の整備につきましては、市と協議しながら、「市立病院災害対策マニュアル」を作つて、準備してきました。今回の熊本の震災においては、当院からも4名ほど向こうに約5日間行くことができ、実際の震災を生目の目で見てきましたので、これが生駒の地区にあればというようなことも蓄積して今は準備できていると思いますし、各職員にとっても、いざ起こったらこう動くという教訓になったかと思えます。(5)地域の医療機関との連携につきましては、協力医療機関連携施設への加入の働きかけが増えていったという1年でありますし、これをどんどん推進しながら、介護・福祉施設との密接な連携体制の構築を進めてまいります。(6)市民参加による病院運営の推進につきましては、今回の管理運営協議会がまさにそれなんですけれども、いただいたご意見を形に変えていくということ。どんどんものを言っていればと思っております。(7)保健知識の啓発による予防医療の推進につきましては、出前講座をはじめ医療講演会を行いました。これは継続してさせていただきたいと思えます。

6ページ目の、平成27年度の収支実績については、当初の計画よりも、思ったほどの入院患者数も外来患者数もなかったということがあります。今回の平成28年度の計

画では、1年経って、だいたいの数字が分かってきたと。本当は当初の計画ではアドバンテージがあってもう少し患者様が来られるんじゃないかなということでの計画だったと思います。そこで差が生じております。ただ、ずっと増えてますので、アンケートの中にもあったような期待感の中で、赤字がかなり増えたというのは事実なんですけれども、それを踏まえてどうするかということで前に進んでいきたいと考えております。

【小紫会長】 ご説明どうもありがとうございました。それでは、平成27年度の事業報告書の内容へのご質問でございますとか、何か委員の皆様からご質問等ありましたら、よろしく願いいたします。

【山上会員】 大規模災害時の対応について、なかなかまだ病院の体制の状況も大変な中で、マニュアルや市との協議書等はもうすでにあるんでしょうか。

【事務局(市)】 大規模災害に関して、災害対応マニュアルについては、昨年夏から市立病院と市で協議を始め、平成28年3月31日に策定しております。

【山上会員】 もうできあがっているんですか。

【事務局(市)】 策定はしております。ただ、このマニュアルどおりに運用していくという作業を今年度、鋭意訓練等をやっている、マニュアルに齟齬があれば見直していくという作業をさせていただきたく思っております。

【小紫会長】 オープンになっているんですけど。どこかで見られるようになっているんですけど。

【事務局(市)】 まだオープンにはしていません。

【小紫会長】 それは、具体的にどういうふう運用するかとかを整理して、また修正なりがあったうえで、最終的にオープンにするからいまはオープンにしていないという意味なのか、それとも何かオープンにできない理由があるんでしょうか。

【事務局(市)】 会長がおっしゃったとおりで、一応机上で協議をしながら作ってはおりますけれども、実際運用していく中で、訓練等を今年度することによって、その計画自体に齟齬があったり、見直しをしないといけない部分があったりしましたら、今年度をかけまして完成させていくというようなことを考えております。

【小紫会長】 それをオープンにすることで、医師会の先生方にもいろいろと災害時のお願いすることもございますし、そういった面での連携も出てくるかもしれませんので。そのあたりも含めていろいろご検討いただければと思います。

他に何かございませんか。

【藤堂会員】 すみません。地域の医療機関との連携ということで、ちょっと今後のことになるかもしれませんが、市の医師会への入会については、平成27年度中は実現していないということでしたけれども、今後についての見通しについて聞かせていただきたいのが1点と、患者の方からのご意見の中に、看護師さんがすごく忙しいようで、笑顔がないとか、こちらから声をかけるのに気が引けるというご意見がありましたけど、看護師さんの労働環境について過重になっているということはないでしょうか。



【小紫会長】 では2点、2点目からいきましょうか。

【事務局(指定管理者)】 看護師の労働環境については、定員管理というものを行っておりまして、それに合わせた人員配置をしています。ただ、お子さんがいらっしゃったりとか、そういう急なお休みがあって足りないことも多少はありますけれども、今のところは基本的には足りていると思っています。笑顔が少ないことに関しましては、接遇教育を強化していきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

【小紫会長】 ありがとうございます。アンケートの方にも、トータルで見ると比較的高い評価ということなんでしょうけれども、この声の方を見るとちょこちょこそういう意見もあったりするので。まあ全体としては一定高い評価だけれども、個別に言えばそういう点があるのかなというぐらいかと思っておりますけれども、よろしく願いいたします。では、1点目の部分は事務局から。

【事務局(市)】 医師会への加入ということでございますけれども、やはり市立病院の体制の中身、どういうふうな連携ができるかという内容をまずはっきりとさせたうえで、加入という言葉が出てくるという考え方を持っております。そして、どういう形で連携をしていけばお互いにメリットがあるかということを整理したうえで、次の段階へ入っていったらいいという考え方をしている状況でございます。逆にいけば、まだ1年しか経ってございませんので、評価の話がまた会長から出ると思うんですけれども、そういったことを踏まえながら何を連携していくかという筋がはっきりと見えななかで連携、または加入という手順が踏まれていくということでご理解をお願いしたいなと思っております。

【小紫会長】 ありがとうございます。ちょっと今日は今村院長がいらっしゃらないので、院長からお答えいただきたいところもあると思うんですけれども。私もいま事務局からあったとおりに近いんですけれども、医師会からこういう点をもう少し明らかにしてほしいとあった点につきましては、一定整理をさせていただいているところがあると思うんですが、まだそれがもう少し不十分だというようなご判断をいただいているのかと思います。そのあたりを対応していくことで、医師会への入会を受け入れていただけるように努力をしていかなければいけないと思いますし、同時に医療とか、介護、福祉のネットワークということで、医師会の皆様にも入っていただいたりするような、そういった場も新たにできてきてはおります。少しずつですけれども、患者数が増えてきたりとか、診療所の先生との連携なども課題はありながらも伸びているところもございまして、しっかりそういうところできちんと実績をあげていながら、引き続き医師会との話し合いを進めて、もちろん速やかに入ることになれば一番いいと思っておりますので、しっかりとやっていきたいと思っております。

よろしいでしょうか。それでは、4の(1)の平成27年度の事業報告書については以上とさせていただきます。

#### 4 報告案件（２）平成２８年度事業計画書について

【小紫会長】 資料で言うと資料２でございますが、平成２８年度の管理運営に関する事業計画書についてというところでございます。これにつきましては一通り中身を説明していただいた上で、この事業計画書、もっと言えばその前の報告書も含めてなんですが、具体的にこの管理運営協議会の中でこの事業報告書、計画書をどのような形で議論していただいたり、形にしていくプロセスをどうするかということで、少し５の協議案件の方にもかかってまいります。したがって、まずは４の（２）のご説明を事務局からいただいた上でそのまま５の協議案件と少しからめて議論させていただきたいと思っておりますので、ご承知おきいただければと思います。では、まず４の（２）の資料２の説明を事務局からお願いいたします。

【事務局(指定管理者)】 それでは、平成２８年度の事業計画についてご説明させていただきます。資料は２です。基本方針、それから診療科目については、大きく変わっていないというか、今回、救急科それから形成外科が１月にスタートして、その形態で進んでいこうということで考えております。診療日、診察時間も、今の夕方の診察もこれはこのままと考えております。棟の編成も先ほどありました１０：１看護基準で、いまの病棟３病棟ですね、プラスＩＣＵということで開棟しております。

次のページですけれども、人員体制で、医師数は、看護師数もそうですけれども、この４月１日で採用もありましたので増えております。医師数も増えたり減ったりを繰り返しているんですけれどもこの２０．３名で、もう少し減っているところと増える科もあるんですけれども、ほぼこの数字です。今回新卒で採ったのは薬剤師さんと看護師さんで、残りの科においては既卒のスタッフで集めてきました。来年度に向けて、いま新卒の学校訪問ですとか、新社会人にターゲットを絞った人員の確保を行っている最中です。

続きまして、次のページ、（６）救急医療体制です。４月以降に整形外科の常勤の先生が来られたといったことで、その救急に対して、今まで救急隊からの問い合わせですぐ答えられなかったものが、今現在では取れるようになっています。引き続き、脳神経外科の確保を目指していきたいと思っております。（７）医療安全管理に対する取組は、医療安全管理委員会や感染委員会を行ってきました。（８）地域医療の支援に対する取組、これも開院当初と変わらずやっていきたいと思っております。（９）事業の開示です。この１年、生駒市さんを通じていろんな情報を開示してきました。当初これは出すべきかどうかという戸惑いもあったんです。この１年を振り返りますと、ほぼ皆さんのカルテ以外は数字は出してきたように思います。（１０）災害時の医療については、先ほど山上先生からご質問があったように、この３月で計画はできたものの、じゃあ病院の職員がさっと動けるかという決してそんなことはなくて、やらなければならないことは一生懸命させていただきたいと思っております。（１１）組織図は別紙参照で、診療科目については前年と変わりはありません。その他の内容も同じです。

最後、収支の計画書で、これも別紙でつけているんですけども、これも1年を通して我々経験ができたので、最初に比べるといかなものかということになると思うんですけども、1日平均の入院患者数は冬頃ですね、11月12月には、平均で100名を超えているようにしたいということで、外来であれば、1日平均105名の4月の計画ですけども、最終は160名といったところを目指してという計画になっています。一人あたりの日当円といいますけれども、それもだいたい推移が見えてきたということで、このような計画を立てさせていただいております。以上です。

**【小紫会長】** どうもご説明ありがとうございました。平成28年度の事業計画書のご説明をいただいて、本来であればここで、内容について質疑応答ということになるんですけども、少し事務局の方からこの事業計画書の策定とか、先ほどご説明のあった事業報告書を反映した形で事業計画書を作るというようなこととかですね。この管理運営協議会でこの事業計画書、事業報告書をどのような形でご議論いただくのか等につきまして、みなさまにいろいろご意見をいただく必要があるのではないかとということがございまして、それが実は5番目の協議案件というところになっております。関係する資料が、先ほど追加でお配りしてます資料番号の無い資料、「事業報告に対する意見の反映について」でございますので、少し平成28年度の計画書の中身をご議論、ご質疑いただく前に先にその説明をしていただいた方がおそらくスムーズに議論がいくかと思っておりますので、事務局の方から5番目の協議案件について説明をいただけないかと思っております。で、この追加で配った資料、若干内容が難しいなと思うので、少しわかりやすく、時間は丁寧に取っていただいても構いませんので、少し噛み砕いて、ご説明をいただければと思いますので、よろしく申し上げます。

## 5 協議案件

**【事務局(市)】** すみません。では、いま会長からありましたようにちょっと噛み砕いてと言いますか、ご案内させていただきます。本管理運営協議会のご意見をお聞きした中で、そのご意見をどのような形で病院の運営に反映していったら良いのかなというところがございます。まず、意見反映の枠組みについてということで、大きく一番上に運営上の課題ということで書いております。この(1)のところが、いま説明のありました、計画書それから報告書になるんですけども、①では何を言っているかと言いますと、この資料の2を見て頂きたいんですけども、これが指定管理者から市に提出される事業計画書そのものでございます。どのような管理運営をしていこうかという具体的手引きですね、見ていただいて分かるものなんですけれども、日付としてですね、3月16日ということで、前年度の年度末に近い時期に出されるということになります。したがって、今の管理運営協議会の開催のスケジュールでいくと、今回と同様に6月の開催になってしまって、出来上がってしまった後に見ていただくということが一つございます。それが一点目です。次に②のところですけども、こちらは資料1-①を見ていただき

たいんですけれども、これが1年間やった実績について、指定管理者から提出される事業報告書でございます。ここは計画に基づいて、今年1年間こういうことをしました、実績はこうでしたということをご報告いただくんですけれども、これも日付を見ますと、5月の末日というようなことで、じゃあこの報告に基づいた結果を振り返って、次の計画にいかにか活かしていったらいいのかなというところの仕組みがいまのところうまく回っていないということでございます。

次に、(2)のところですが、こういった報告書をいただいたときに、市としてそれがうまくいっているのかな、実績がどうなのかなという一定の評価をさせていただくことになるんですけれども、その時に、運営のところ、指定管理者で独自にアンケートを取っておられるような患者様の接遇の部分とか、そういうソフト的なところは、このアンケートを見れば市の方でも把握できるんですけれども、具体的な医療の内容とかですね、計画に書かれているような内容を、いかに評価するのかというところで、市としてこの医療の分野は初めてですので、そういうノウハウが不足しているという課題がございます。

次に(3)ですが、いまご案内しました計画書それから報告書そのものなんですけれども、この各年度で指定管理者の方からご提示いただく事業計画書、年度の事業計画書というんですけれども、それのもとになっておりますのが、病院事業計画という生駒市の条例で位置づけられた大きな計画でございます。その病院事業計画を実現するために、各年度どういう管理運営をしていくんだというところがこの事業計画書なんですけれども、①に書いておりますように、いま現在の計画そのものがですね、本来の大きな事業計画に書いていることをそのままスライドした内容になっております。そういうことで、具体的に、やっていただいた実績の指標化がなかなかできていない、そういう項目があるということ、したがって指定管理者が医療に取り組んでいただいているその取組内容の達成の情報が把握しにくいという課題がございます。つきましては、資料の下に対処方針(案)として書いておりますけれども、まず大きく一点目としまして一般的に言われるPDCAサイクル、計画をして実行してそれを確認して改善をしていく、より良いものにしていく、というものがあるんですけれども、今回計画の部分を次の年度計画に反映する仕組みをまず作るということで、次年度につなげる改善の機能をしっかりしたい。次に、評価する指標として指定管理者から出された事業報告書を市がしっかり評価できるような、ここでは実施状況調査ということでかっこ書きで書いてありますけれども、評価の取組が必要ではないかということでございます。(2)実施状況調査につきましては、先ほどの(2)の課題と同様に生駒市として病院に関する具体の医療に関する知識・ノウハウが不足しておりますのでそれを補完していただくということで、医療系の専門のコンサルタントさんに委託という形でお願いをしたいと考えております。次に3点目です。年度事業計画の見直し、報告書の様式の定番化ということで、いま申しました市が評価する仕組みにおいて計画と実績の比較がなかなか難しいんじゃないか

ということで、お手元にお配りした資料1-①②の部分を見てまして、現実問題として私ども感じてございますので、そういう場合には資料2の今年度の事業計画の方をもう少し噛み砕いた形、実際の病院がいまやっけていただいている取組を行動計画的にもう一度作り直して改めさせていただいたらというのが①でございます。それだけではなく、その形をつくることによって計画・実績が非常に比較しやすい様式を作ってしまうと、指定管理者が実績値を入れれば、すぐに報告になるという形で、事務負担を軽減させていただきたいということと、市の評価であるとか本協議会の委員の皆様の意見の反映がしやすい環境を作っていきたいという方向を考えてございます。次、2枚目をお願いします。

**【小紫会長】** 一回この辺で切ったほうがいいですか。とりあえず最後まで聞かせていただいてよろしいですかね。2ページ目・3ページ目まで。

**【事務局(市)】** 引き続きまして2ページ目をお願いいたします。いま申しました課題を踏まえた方針をもとに今年はどういうことをしようかということで、いま考えていることを案としてあげてございます。まず1点目に、平成28年度の事業計画、資料2なんですけれども、こちらの方をいま申し上げたような方針に基づいて進めたい、関係機関と書いておりますけれども、こちらは本協議会と市議会の方でございます。そちらにご説明を行った上で、前年度の事業報告書、資料1について、まず、評価が出来るかということ进行调查したいと思います。②ですけれども、その結果計画と実績の評価がなかなか難しいなというものもあると思いますので、その場合には平成28年度の資料2の計画を行動計画的なものにする見直しに着手したいと思います。次に、その取組につきましては、平成28年度上半期中の完了を目途に作業を進めたいと考えております。次に(2)ですけれども、平成28年度の事業計画の見直しが出来ましたと、行動計画化できましたということになりますと、その行動計画に基づいて一度上半期の実績を指定管理者で実際の取組を入れていただいて、それがチェックできるような形の計画の作り方になっているかを再検証させていただきたい。その上で、微調整が必要なものがあれば微調整させていただきたいと思っております。それを取り急ぎ今年度になんとか間に合わせまして、新たな計画づくり、来年度の平成29年度事業計画においては完全にうまくPDCAの形で回るような計画書・報告書、管理運営協議会の方へのご報告の時期、そういったものの整理をまず考えさせていただきたいと思っております。

3ページ目、平成29年度以降なんですけれども、簡単な概念図で書いておるんですけども一番左端に管理運営協議会がございまして、年間に1回2回3回とご報告をさせていただいております。私がお説明申し上げました内容の流れを書いておまして、お手元の資料の管理運営協議会の横のところから矢印がおりておりますけれども、そちらは前年度の事業計画に基づきずっと病院の方が管理運営を行ってきた、それに基づく事業報告書が出てきましたら、新たな取組の実施状況調査を行って評価させていただく。もう1つ図面の一番右端ですけれども、当該年度の事業報告書が出てきますので、その部

分の中間期の実施状況の報告を合わせまして管理運営協議会にご報告させていただいて、ご意見をいただきながら改善をしていくという流れを精査していきたいと思えます。

【小紫会長】 最後のところは話が変わりますので、1回切ってください。3ページ目の一番下のところは後で説明してもらいます。この資料ですけど、私もだいぶ簡潔にして欲しいと言って、それでなおこのぐらい難しい資料になってますが。複雑化させるつもりはなんですけれども、いくつか、先ほどご説明いただきました平成28年度の事業計画書、また事務局で足りないところは補足してください。いくつか内容的なこともそうですし、策定にあたってのプロセスにも課題があるんじゃないかというのが担当課からもございました。それが、1ページ目にあります、大きく3つでございまして、基本的に管理運営協議会は年に3回なんですけれども、来年度の事業計画書、平成28年度はこれでやりますと計画書が報告という形になってしまっていて、本来であれば、管理運営協議会でご意見いただいた上でそれを反映して計画書ということにするのが望ましいということだと思うんですけれども、なかなかそれがうまくできていなかったんじゃないかということ。もう1点は事業計画書を策定するにあたっては、前年度のどういうことであったかという報告実績、そういうものを踏まえて課題を洗いなおして、次の年の事業計画書に反映するということが望ましいやり方であると。ただ、これは非常に難しくて収支の報告などがありますので、資料1は5月の末とかになってしまいます。完全に前年度事業報告書がまとまったところからその次の事業計画書を作るというのは、タイムラグ的に物理的に不可能でございまして、そのあたりをどうするかという工夫はいるんですけれども、一定前年度の実績をある程度反映した形で次の年の事業計画書を作る必要があるんじゃないかというのが1ページの運営上の課題の(1)の部分でございまして。2番目は、計画を作るにあたって報告書を踏まえて作る、踏まえてってところで我々市のほうでも色々見せていただく部分もございまして、医学的な部分とかなかなか市役所の職員だけでは対応できない部分もございまして、そのような点につきましては、第三者的な外部の方の専門性も活用した上で実施状況調査というもので報告書の内容をしっかりと調査して、その結果を事業計画書に反映していくようなことが必要でないかというのが(2)でございまして。3点目(3)につきましては、先ほどご説明いただいたような事業計画書のスタイルというのも何か問題があるかと言えば必ずしも問題でもないのですが、具体的に大元の病院事業計画というのがありますけれども、それを達成するためにどういうふうなことをやっていかないといけないのかとか、目標的なものとかアクションプラン、そのためにどういうことを具体的にやっていくのかとかいうようなものが事業計画書の中に次の1年どうしていくかというのを整理していくというのが本来事業計画であるべきだろうと思っております、それをもう少し分かりやすい形でしっかりとチェックして次の年のさらにその先に繋げていくような、病院事業計画の記載事項が達成できるように内容を少し見直していく必要があるんじゃないかと。大きくこの3点が問題意識と大きな対応の方向性であります。2ページ目が入ってややこしく

なったかもしれませんが、基本的にはそれを受けてどうするというのが3ページ目です。先ほど申し上げたように平成29年度の事業計画書というのも当然また作らななあきませんけども、それを作るにあたって、平成28年度の事業報告というのもあって上半期の実績が9月10月でまとまってきますので、それを踏まえて平成29年度の事業計画を作り始める。管理運営協議会の3回目がだいたい2月から3月にかけてございますので、そこに平成29年度事業計画というものを outs せていただいて、色々ご意見いただいて平成29年度の事業計画書というものを最後に固めていくというプロセスが必要だろうということでございます。平成28年度上半期とかの状況調査をしていくにあたって、市の方でやる部分もありますし、先ほど申し上げたように外部の方にお力を借りてやるというプロセスが必要になってくるであろうと考えております。

今年度はもう始まってしまっていますので、平成29年度以降完全にどこまで出来るかというのは若干あるのですが、なるべくそれに近い形で平成28年度の事業計画も少し見直していくようなことを考えていきたいというのがこの2ページ目の資料でございます。基本的には同じで平成28年度の資料1として説明がありました事業報告書について速やかにその内容を精査して、平成28年度事業計画書が一旦このような形でできていますけども、少し内容の再整理をさせていただきたいと思っております。重複する部分があったと思いますが、そのようなことを考えておきまして、趣旨は色々申し上げましたけども、やはりこの管理運営協議会で皆様のご意見・市民の立場・自治会の立場・病院・医療関係の皆様のご専門の立場からご意見をいただいてそれをしっかり事業計画等に反映していきたい。前年度の事業報告の評価・分析の部分にも力を貸していただくというのももちろん、この管理運営協議会の趣旨でございますので、運営にあたってのお力をいただく協議会でございますので、そういうふうなことをしていくための考え方の整理をさせていただく、もっと早く去年の2月ぐらいにできたら良かったのかもしれませんが、少し見直しをさせていただきたい、改善させていただきたいという趣旨でございます。あと、事務局からの補足とか会員の皆様からのご質問いただければ幸いです。今日の一番大きなポイントかと思っておりますので、時間あと30分程しかございませんがご意見いただければ大変ありがたいです。いかがでしょうか。補足説明あれば。

**【事務局(市)】** ちょっとわかりにくい資料で非常に申し訳ございません。ちょっと補足ということで、平成28年度の事業計画書を見ていただきたいと思います。例えば3ページ(6)救急医療体制ということで「市内受入率の向上に貢献する」という表示が載っております。つまり貢献とは何をするのかと、また次の②ですけれども、「連携連絡を緊密にし」、緊密とはどうするのか、見ていただいたら気がつくと思うんですけど、「協議を進める」・「支援する」・「協議を進めます」・「整備する」・「徹底します」・「評価する」・「充実する」・「実施範囲を拡充する」・「連携を強化する」・「協議し検討を始めます」。こういう言葉に対して報告をいただくと、「支援しました」あるいは「充実しました」と横

滑りのような形になる。ここで具体的に話を進めていこうとしても中身が分からないんですね。同じことが平成27年度の事業報告書にも言えます。先ほど藤堂会員からご指摘もあったように、報告書については「市民アンケートをしました」「反映しました」となっているんですね。どういうものを、どういう形で反映したのか。あるいは「市民の意見をすぐに取り入れた」となっているんですけども、もう少しきちんと押さえていかなければ、なかなかいろいろな意見等を出しにくい、もらいにくいということもございます。そういったことで、この場はいろいろなご意見等を賜りまして、それをうまく事業運営に反映させていく、分かりやすい計画書を作ってしまおうというのがまず一つ目です。分かりやすい計画書、分かりやすい事業報告書ができたならばそれに基づいて具体的なご意見等をいただいて、その意見を反映でき、ひとつのスキームができますので、うまく調整もとっていくというのがこちらの思いです。簡単に申しましたけれども、こういうイメージということでもよろしくお願ひしたいと思います。

【小紫会長】 会員の方、何かございますか。

【野田会員】 市民の目線からになりますけどよろしいでしょうか。私の友達はこの市立病院で働いてる方がいらっしゃって、当初はなかなか患者さんがいらっしゃらないということからすごく宣伝していらっしゃったんです。いい所をたくさん色んな地域の方にご説明されて、私もインフルエンザの予防接種に初めて行かせていただきました。そうやって働かれています方の努力とかをいつも目の辺りにしていたんですけど、先日、小学生のお子さんが、ボールで頭を打って吐いていらっしゃるということで、救急車が近所に来たんですけども、結局奈良では受け入れ先がなくて、大阪の病院へ回されたんですね。脳神経外科の先生がたまたま不在だったみたいですけども、たくさん勤めている方が誇りに思っているところが非常にインパクトあるなと思うんですけど、「救急は断らない」と謳っているにもかかわらず、大阪の病院に回されてしまったということで、その方から出る言葉は、「生駒が不安に感じた。環境はいいけど、すごくのんびり感を感じた」と言うことをおっしゃっていて、その辺のギャップが今回聞いて、「救急は断らないという姿勢の元」というのがすごくインパクトがあつていい面だなと思うし、断らないということは100%というイメージがあるんですけども、それが満たされなかった時のショック感は大きいです。病院もできてまだ間もないので「姿勢の元」というとできてしまっているように思ってしまうんですけども、何か「断らない姿勢を体制を整え」みたいな表現の方がみんなやっていくというような生駒市民の皆さんとも近い距離の病院に感じるのかなとちょっと思ったので。一市民の意見なんですけども話させていただきました。以上です。

【小紫会長】 ありがとうございます。事業計画書とかこの辺りをどういう手順でやっていくのかという議論をさせていただきたいと思うんですけども、せっかく大切なご意見をいただきましたので少しこのところについては一回回答いただいて、先ほどの資料のプロセスとか手順とかそういう話をさせていただければと思いますけど。野田会員のご



質問に関してコメントすることございますでしょうか。

**【事務局(指定管理者)】** いま救急車の話が出て、大阪の方に運ばれたというのは私も聞く話です。当初、救急を断らないという気持ちで取ろうとしているところで。色んな意見あるんですよ。以前生駒市さんから、うちに来たけど違う病院に移った件数を出しなさいよと言われたんですよ。その裏にあるのは、市立病院は何でもかんでも救急を取るだけ取って、治療できないからよそへ送ったんでしょ、というふうな事で僕は聞こえました。実際そうかどうかは分からないですよ。そういったこともあったりする。頭の病気であれば、脳外の先生は当院に常勤でいませんから、常勤のいる病院へすぐに行かれた方が早いじゃないですか、手術するにせよ。じゃあ、大阪に行くまでにないのかというとその日によったり、その時間によったり曜日によってもいまだにあるわけですよ、グループであれば野崎や奈良の市立病院さんであったり、生駒市内でも同系の先生がおられるとこに送ることもあれば、当院から送る場合でも大阪の方に送る場合もあったりします。なんとか気持ちの中では救急をお受けしたいというのがありながら、実際はそういうことになっていないのが現実です。ましてやお子さんをお持ちのお母さんとかは、せっかく病院ができたのにといい思いはよく聞きます。必ず当院では看護師も医師も救急隊の方もよく心得ておられて、どんな症状なのかどうなのだろうとかを色々合わせて判断しています。ここまで来ればCTの機械も24時間年中無休でいつでも撮れる体制があるとか、MRが撮れる体制があるとか、診断がつくように出来るだけするのは日々あるんですよ。生駒市以外の五條の方からも問い合わせがあるわけですよ。奈良県下といった意味では。そんなところから当院まで来るのに2時間以上かかるのであれば他にあるんじゃないかなみたいな話もあったりします。救急の医療は出来るだけ取りたいという思いがこの言葉になっていますと偉そうなことは全く言えない訳ですが。ちょっと前進したとすれば整形外科においては同じようなことが起こっていたんですよ、明らかに骨折しておられるのは分かるわけで、うちに来ても手術できませんよと言えるんですけど、そうじゃない部分は疑いでも取れなかった事がたくさんあったんですけど、今は常勤の先生が来られて、同じように地域との連携を図りながらですけども、そういったことでそちらに行かれたほうがいい、それがたまたま大阪だった事は中にはありますけども、市民の中で完結できればという思いがあるのはよく分かります。転送率を出してくれよって言われたのは逆転するとは思うんですけども、市民の方からの意見としてはそういうことがあることはしっかりと院長に伝えたいと思います。ありがとうございます。

**【小紫会長】** 市内の時間帯にもよりますが、市内の救急搬送9割以上受け入れていただいているんじゃないですかね。そういう意味では全て100%ってことではないですけども、いまご説明があったように常勤の先生がいらっしゃらない、非常勤で対応しているような診療科目において夜中とか休日とかの対応が出来なくて、他の病院に行っていたかざるをえなかったりとか、あとは転送という話がありましたけど、最終的に

最後まで処置ができない場合でも一旦受け入れて最低限の処置をしていただいてから、次の最終的に処置できるところに送っていただくようなほうが望ましい場合もあるわけでございまして、そういう意味で今の人員体制でやっていただける救急は積極的にやっ  
ていただいているというのが私の評価なんですけども、そういう意味では体制が整って  
いなくて救急は100%断らないと言うところまではまだ実現していないし、90%は  
超えているということではあるのかなと思っております。引き続ききちんとやって進め  
ていきたいということかと思いますが。ご意見いただきましたが、先ほど資料説明した  
部分の、病院全般に関するご質問はまたございましたら受けたいと思いますので、特に  
先ほどの事業計画書の作り方の中身とかプロセスですね、それを作るにあたっての報告  
書の検証とかその辺りについて野田会員も含めて他の会員の皆様からも何かございませ  
んでしょうか。

**【藤堂会員】** 考え方としては、このPDCAサイクルでご提案いただいたのは非常に良  
いと思うんですが、具体的にどういう形で出てくるのかイメージできないところはある  
のですが、私たち会員は、医療の専門家、病院経営の専門家、先生はいらっしゃるす  
けど私どもはそうではないですので、外部のコンサル等にお願いされるのであれば、問  
題点であるとかを整理していただいた上で、事業計画の中で、生駒市の病院事業計画と  
リンクはしているんでしょうけども、重点的に取り組む内容を一律に全て書き並べてい  
ただいてはいますけれども事業計画の中ですぐに実現しなければいけないこととかがあ  
るんだろうと思います。それをもうちょっと明確にさせていただいて、それが、事業報告  
の中でそれが実際に達成できたのか、数値化できるものばかりとは限らないとは思いま  
すけれども、ある程度可視化というものについては、検証しやすいような資料としてご  
提示いただければありがたいと思います。

**【小紫会長】** 貴重なご意見ありがとうございます。全くその通りだと思います。そもそ  
もとして、いま方針を申し上げましたけど、平成28年度の事業計画書をこういった形  
で少し見直していくのか、見直したものを見ていただかないとイメージがわからない部分  
もあるかと思いますので、それはきちんとご提示はしたいなと思っておりますし、管理運  
営協議会でそれに対してご意見をいただくことになります。かなり医学的な専門的な項  
目もあるかと思えますし、その辺りにつきましてもなるべく全ての会員の皆様にご審議  
をいただく形での資料とかそういうものは整理をしたいと思っておりますけど、それ以  
外の市民の立場から各地域の皆様立場からこの計画書の中身を少し反映していかなき  
ゃいけないとか、そういうご意見をいただける項目もあるかと思えますので、その点は  
協議会、医師の先生方から地元の方いろいろいらっしゃいますので、それぞれのご意見  
をいただくという形でそれを反映した計画になっていくと思えますけども、それを提示  
させていただいてご意見をいただけるような設定にしていきたいと思えます。いま頂い  
たご意見を元に整理して、また、ご意見を伺いたいと思えます。

**【井上会員】** 私も藤堂会員と全く同じ考えで、評価するのにPDCAを導入するのは非

常に良いことだと思います。第三者のコンサルトに委託することも考えるというのも非常にいい案だと思います。生駒市立病院の平成27年度の事業報告と平成28年度の事業計画、見比べてみると同じで方針がほぼ変わってなくて、どこをどう改善するという意見がないように思うので、後半なら後半でテーマを一つでも決めて、それを推進していくことによって改善されるんじゃないかなと思いますので、その辺のところコンサルトが入ったら一発で指摘してくれると思いますので非常に良いことだと思っています。

【小紫会長】 ありがとうございます。そのような形でしっかりやっていきたいと思いますので。

【成田会員】 生駒市全体の医療計画というか、市立病院を含めて全体の医療をどうやっていくのかという計画はあるのでしょうか。

【事務局(市)】 医療の計画というのはいないんですけども、生駒市総合計画の中に医療にかかる部分の取組みについて、目標とか具体的に市はこういう形で取組むとか、市民の方にはこういう取組みをとるという部分の整理はございます。

【成田会員】 生駒市の全体の医療の中で、生駒市立病院がやるべき部分とその他の病院さんがやる部分があって。例えば機械が生駒市どこかの病院に入っていたらいいねとかいう話があったときに、それは市立病院でなくてもいいわけで、近大病院さんだろうが他の病院さんどこでもいいので、全体として生駒市の中でも一つぐらいはいるよねという話になった時に市が補助してでもどこかに入れていこうとか、全体で今後、往診するような体制を非常に強化していかないといけないとしたら、生駒市全体として補助していきましょうとか、そういう全体の計画というものはあるのでしょうか。

【小紫会長】 総合計画とか生駒市の中の話じゃなくて、他の病院との関係性でのご質問だと思うんですね。その一つの仕組みとしてはさっき申し上げたんですけど、医療・介護福祉のネットワークという形になっていますけれども、市内の医師会も入っていただいて、介護福祉施設も入っていただいているんですけども、このような大きな枠組みの中で色んな具体的なテーマ認知症予防でありますとか、医療と福祉の連携みたいな話とかテーマはあるんですけど、そういうような枠組みの中で、病病連携・病診連携みたいな議論をしていく余地が出てくるかもしれません。生駒の市立病院も含めて近大さん他の病院・他の診療所も全部含めて、連携という意味でご質問いただいていると思います。連携をしっかりとっていくというのは当然のことだと思っていますし、いま申し上げたようなネットワークの場も一つになると思いますし、そこで議論がまとまってきたときに具体的な個々の連携みたいなものが出てきて。生駒の市立病院でこういうことをやって、他の病院でこういうことをやってというような網羅的に整理した計画したものをすぐに作る予定はないですけども、究極はそういうような連携はどのようにしていくかということ色んな場を通じて議論されて市内での連携をすることで市民の利便性というか満足度が上がるような工夫・余地はあると思いますので、考え方としては我々も持っておりますけれどもそれが計画という形になるか分かりませんが、そういう場は出

来つつありますので、そういう方向に行くのは成田会員がおっしゃる通りだと思います。それを具体的に詰めていくのがこれからの課題だと私は思っております。事務局から何か補足あれば追加していただいでよろしいでしょうか。

**【事務局(市)】** いま会長が申された仕組みづくりを進めてございます。この前、医療介護ネットワーク協議会が開催されました。これはまだ第1回目でございます。ネットワーク協議会の中に部会を作っていくという事で案も固まっております。一つの案は、ご指摘がございましたように、医療と介護の連携ということでそういった部会を作っていくと、その考え方は、医療の世界の中で介護といかにかうまくマッチングさせながら、いかに地域の医療体制のネットワークを結んでいくかという考え方がひとつ柱としてございます。その柱に基づきまして、どういった連携が組みやすいか、まずは現状調査をやってみようという事で、現状を取りまとめていきながら課題を見つけて、その課題に対する解決策、ネットワークという手順で進める第一歩を踏んだというのが平成28年度の状況でございます。

**【小紫会長】** ありがとうございます。

**【成田会員】** アンケートとか報告書ベースじゃない実際の技術面とか管理面の監査をするような考え方は市とか病院とかにはあるのでしょうか。

**【小紫会長】** それで、先ほどの実施状況調査というところで、どこまでやるかという所の具体的な部分はこれから細かく精査していくところだと思うんですけども。先ほどの医療系コンサルタントという話なんかもありましたけれども、そのあたりに入っただいて実施状況調査をやっていただくにあたって、ご指摘のあった技術面・管理面というところで、どこまで具体的にやっていただくかという詳細はこれからなんですけど、その辺りもしっかりやっていただくことにはなっていくと思いますが、その辺りは事務局の方で詰めていっていただくようなことにはなるかと思えますし、その結果というのは調査に基づいて報告書とか計画書の案が出てくるかと思えますので、その中でさせていただくことになるかと思えます。

**【藤堂会員】** 事業計画、いまお話に出たような内容はすごく重要な点ではありますがけれども、もう一点病院の収支について、赤字の状態でも永遠に続くのは非常に好ましくないということなので、当初の平成27年度は患者さんの増加とか入院患者・外来患者の想定が現実が乖離していたということがあったということで、平成28事業計画については現実に即したような計画になっていますけれども、この点についても現実に即した、言い方は悪いですけども100%達成できるような数字を並べるのが果たしていいのかどうかという考え方もあるかもしれませんし、今後もう少し当初の見通しほどは行かなくても、それに近づけていくためにはどのようにしていったらいいのかというのは現実面として必要になってくるかと思えますので、その点について何かお考えがおありなのかお聞かせいただきたいと思えます。

**【小紫会長】** 大変鋭い質問でございますし、どういう部分を計画目標に取っていくかと

いうとても難しい議論だと思います。先ほど少しありましたが、全体の病院事業計画というのもございますので、そういうものも当然意識していかなければいけませんし、実態をどう見ていくのか、ある程度事業報告書の実態を見た上でどういう計画を作るのかというプロセスがあるわけなので、その辺りの関係をどうするかとか、今、藤堂会員がおっしゃった部分については若干議論が始まっているが、なかなか難しいところだという認識で、今ちょっと歯切れが悪いですけど、どうするかというのは大きな課題のポイントの一つになると思っております。今のご意見を踏まえてどのような形で計画の中に整理していくのかというのをもう少しお時間をいただければと思いますけども。事務局から補足ありますか。

**【事務局(市)】** もっともな議論になるんですけど、当初の一番大きな計画では、25人というような医者の配置になってございます。出発は18.3人ですけども、平成28年5月には常勤換算25.9人で、ある程度の充足した状態になってございます。事業計画はあってないんです。事業計画では医者の数というのは25人なんです。25人を目指してものを見ていくんですよね。25人を切ったものの考え方で、逆に言うのであるならばおかしい数字を使っていると思われても仕方ないんです。同じようなことが事業収支にも言えます。まだ1年しか経っていないので、収支計画までひっくり返して全体まで見直すような時期というのは、3年をベースに考えてございます。当初の収支計画がこのままでいいのか、あるいは向こう10年間の収支計画がこれでいいのかということは開院3年後に改めて議論するというところでございます。今はある程度、収入をみることができて初めて見直すことができるという考えを持ってございますので。ちょっとこの1年ですぐということは考えておりません。

**【事務局(指定管理者)】** 去年1年もどれだけ乖離するのかと言われ続けて、正直人間やっぱり甘くなるというか。事業計画との乖離だけで職員が暗くなるんですよね。先ほど病棟の顔の話がありましたけれども。やはり、計画を達成したい、まあマイナスの計画ですけども、そういう気持ちがあります。今回も平成28年度の計画が出ましたけれども、指定管理者、生駒市さん、議会があつて、近隣の医療機関、もちろん医師会もあつて、市民の代表の方も集まって。これだけの力を合わせたら日本全国どこの病院にも負けないような病院になっていくと思うんです。去年1年はしんどいだけの1年でした。マイナスに働かないように、これだけのみんなの力があればどこにも負けないような病院になるはずですよ。それをぜひお願いしたいなと思います。

**【小紫会長】** 議論が盛り上がってきたところですが、16時まであと5分となりました。先ほどの3ページ一番下の部分ですね。単年度単年度はこんな感じでやっていきたいなということでご説明させていただいてご議論もいただきましたけれども、3年に一度というような中期的な見直しについて、事務局からご説明していただいてよろしいですか。

**【事務局(市)】** 資料3ページ目一番下、「病院事業計画との関係」ということで、条例で病院事業計画は概ね3年に1回見直すこととしており、3年に一度、実施状況調査に

合わせて、「医療需要調査」ということで、市立病院だけの要因ではなく、周りの医療需要とか、医療の充足度、患者さんの動きも大きく変わっている可能性もありますので、そういった外部的な要因の調査を行います。それによって環境の変化も把握したうえで、その計画の見直しに入りたいと考えています。検討の結果、病院事業計画そのものを見直す必要があるかなという場合には、市から病院事業推進委員会へ計画の案を諮問をさせていただきます。当然、計画が見直された場合には翌年度は、その新しい計画に基づいた年度の事業計画によって運営をしていくということで考えております。以上です。

【小紫会長】 今の説明も含めまして協議事項5の部分ですね、平成28年度の事業計画とかの見直しや、来年度以降の策定の仕方、実施状況調査の話もありましたけれども、まとめて何かご質問等ございますでしょうか。

【成田会員】 前回の協議会でありましたが、生駒市民の中で市内で受け入れている数と、市外に行ってしまう数の調査は進んでいるのでしょうか。また、救急の市内受け入れ率をずっと出していただけると、推移が分かりますし、4月5月で人数が減っていても、受け入れ率としては上がっているかもしれないので、全体を見るために出していただけたらと思うんですけども。

【山上会員】 ちょっと申し上げさせてもらいます。確か、市の救急の方は73%か74%ぐらいの外科系1次2次、内科系2次の受け入れはできている、救急車の場合はですね。確か市立病院さんは9割ぐらい、救急車の要請の件数は少ないと思いますけれども受けておられる。足せば、当然市立病院ができるまでに比べて受け入れ率は上がっていると言えると思います。市民の皆さんが100%にするべきとおっしゃるのは重々分かっているんですけども、医療資源も限りがありますし。先ほどの大阪の件についても、生駒は地理的に大阪に近いので、今後もお世話になることがなくなることはないと思いますし、私の患者さんでも別に大阪に行くことに抵抗のない方もおられます。奈良の遠い所よりは近いので、おそらくなくなることはないと思いますので、ご理解をいただきたいと思います。受診率については知らないのです。

【小紫会長】 いますぐに分かるなら。分からなければ次回以降、定期的な報告の中に、救急の話とかも、市民方の関心も高いところですので、入れていただければ。作っている資料があると思うので。そういう対応をさせていただきたいと思います。それでは、そろそろ時間ですけども。

【藤堂会員】 すみません。先ほどはちょっと厳しいことを申し上げましたけれども、生駒市の自治連合会の中では、やはりせつかくできた市立病院ですので、みんなで育てていきたいという思いを持っておりますので、それだけ申し添えさせていただきます。

【小紫会長】 ありがとうございます。先ほど申し上げた事業計画書の策定のプロセスでありますとか、その中身についてこういう方向で今後見直していきたいとか、第三者的な状況調査も含めてというところで、そういう進め方でやらせていただくことにつきましては特にご意見、ご異論ございませんでしょうか。

(意見なし)

【小紫会長】 ありがとうございます。それでは特にご意見ないようですので、方向性としては先ほどご説明させていただいたようなことで進めさせていただきますが、具体的にはそれを踏まえて、平成28年度の計画をどんな内容にしていくのかとか、平成29年度に向けた、平成28年度の事業報告書のとりまとめ、分析評価ですね、そういった具体的なものを見ていただいてご議論いただくというのが今後出てくるかと思います。概ねこういう方向で進めさせていただくということにつきましては、一定のご理解をいただいたということで進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、最後に全般を通じて何かご意見ございましたら。では、事務局からサマーフェスタの告知がありますので、お願いします。

【事務局(指定管理者)】 去年も行ったんですけれども、サマーフェスタと言って、病院祭というか健康祭というか、病院へ足を運んでいただいて、中を見ていただくという催しです。今回は8月20日の土曜日になりますけれども、医療講演も含めてさせていただきます。NPO法人生駒の地域医療を育てる会と共催の親子見学会も併せて行います。いまどんどん中身を詰めていっていますので、こういう機会に病院を訪れていただきますようお願いいたします。

【小紫会長】 ありがとうございます。まさに市立病院のこと、また市立病院に限らず生駒の医療のことをいろいろ知っていただくいい機会かと思っておりますので是非ご参加いただけたらと思います。

それでは、事務局に返せばよろしいですかね。

【事務局(市)】 すみません。次回の開催でございますけれども、10月ごろを予定しております。また開催日程等につきましては調整を事務局の方からさせていただきたいと思っておりますので、ご協力よろしくをお願いいたします。以上です。

【小紫会長】 10月には、いま少し話がありました、平成28年度の事業計画書の改善されたものとかそういう案とかいうものが出るということになるのでしょうか。これから詳細は決まるんですかね。

【事務局(市)】 次回の日程については、また改めてご連絡させていただきますので、よろしくお願いいたします。

【小紫会長】 一応基本は年3回ということで、6月と10月と2月ごろということですが先ほど申し上げたようなことで病院事業計画の改善・見直しということもありますので、次回の開催日程についてはもう一度事務局の中で整理させていただいて改めてご連絡させていただきます。またお忙しい時間を余分に頂戴することがあるかもしれませんが何卒よろしくお願いいたします。

それでは、第3回の管理運営協議会を終了させていただきます。本当にいろんなご意見をいただきありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。ありがと

うございました。